

決算に対する各会派の要望・意見

日本共産党藤沢市議会議員団は、平成28年度一般会計決算ほか5特別会計決算等に反対し、市民派クラブは一般会計決算に反対し、その他の会派は全決算に賛成しました。

ここでは、決算に対する各会派の要望・意見の要旨をお知らせいたします。

学校の教育情報機器 計画的な整備を 市民派クラブ藤沢 8人

①効率的な働き方のため、フレックスタイム制や、職員の仕事の健康を守るための勤務時間インターバル制度の導入を。②オリンピックの気運を高める取り組みとして、セーリング体験の場をふやすこと。③地域主体のまちづくりを進めるため、地域の機運を高めるイベントには財政面やさまざまな相談に積極的なバックアップをすること。④紙媒体の防災マップの更新頻度を高め、毎年3地区ごとの更新を。⑤学校プ

家族介護者の支援策 実態に即した支援に 民主クラブ 7人

①オスプレイの飛来情報とともに飛行形態についても監視を行うなどの状況把握を。②セクシャルマイノリティーについて、人権尊重の視点に立った意識啓発を市民、市職員、教員、また学校においても児童・生徒に対して進めること。③総合教育会議の主旨、役割が参加者間で共通認識されるべきであり、より良い教育につなげること。④選挙において、障がいのある方のほか、日本語を母語としない人等に対して意思決定の支援を。⑤教育プログラムは、各学校の教育課程を尊重し、イ

合市民図書館を除く3市民図書館及び11市民図書室のNPOによる運営を段階的に進めるとともに、湘南東部医療圏の看護士不足解消のためにも湘南看護専門学校への補助の延長を。⑬市内農業を若い後継者の声を生かして多角的に支援し、地産地消や藤沢産畜産物のPRの推進とともに、水田保全のための農業者の法人化を進める取り組みを。⑭AEDを速やかに提供できる救急セーフティステーションの整備普及と、救急救命講習の受講促進を。⑮不登校の児童生徒に対し、学校内だけでなく多様な団体と連携した支援を。⑯総

聾耳記念碑広場 整備して観光資源に 藤沢市公明党 6人

①市役所新庁舎のオープンを機に、さまざまな企画を検討し、市民参画型で市民に親しまれるよう演出を。②藤沢という名称の知名度向上に徹底的に取り組む、指標を設定して毎年その成果を発表すること。③オリンピックのボランティアは、さまざまな年代が幅広く参加できるように、企画や情報媒体を工夫すること。④聾耳記念碑広場を中国

発見できたなどの経歴談も配布するような工夫を。⑫訪問看護など看護師の講習を行うこと。⑬市内事業者などへ働きかけ、建物緑化事業の助成件数をふやすこと。⑭市民農園を幅広い世代へアプローチし、利用率の向上に努めること。⑮子どもの貧困対策は、松本市のような指針や行動計画を策定し、全庁的な取り組みを。⑯神奈川県聴覚障害者協会の手話による絵本の読み聞かせ活動を、子ども青少年部と連携し広めること。⑰児童クラブは小学校に余裕教室がない場合、特別教室の活用も検討すること。⑱検診の受診勧奨のため、早期

放課後児童クラブ 指導員の確保を 富士さわ湘風会 6人

①災害時に、職員が能率的に動けるようソフト面での備えも必要であるため、効果的な職員研修の機関と公民館機能を統合し、頼りになる拠点施設として検討を。②市民センターに貢献した人材を生み出した耕余塾を周知すること。③遊行寺には多くの重要文化財等、貴重な品があるので藤沢の歴史文化の周知・普及に生かすこと。

津波ハザードマップ 改訂し配布を 日本共産党藤沢市議会議員団 4人

①厚木基地での米軍ジェット機の爆音等に対し、米軍及び政府に強く抗議すること。②行財政改革における窓口業務の外部委託はやめること。③公立を含む認可保育所の新設・増設を基礎に待機児童解消を進めること。④就学援助は全員から申請用紙を回収するとともに、

財源確保と歳出削減 収支乖離の解消を 無所属クラブ 2人

①さらなる企業誘致等による自主財源の確保及び民間資源を積極的に活用した歳出削減に取り組み、収支乖離の解消に努めること。②市民農園未利用地の農福連携分野への活用について調査研究を。③市内北部に人を呼び込む場所として少年の森の

とから、計画的に整備すること。⑱5年間の中期財政フレームによる、約545億円の収支乖離を解消するために、人件費を含めた事業ごとの費用対効果を検証し、事業の廃止や継続は公開で見直し、抜本的な計画を示すこと。

市民会館等再整備 横断的な連携を 自民党藤沢 1人

①藤沢型地域包括ケアシステムは、子どもの貧困対策等と連携し、全世代型社会保障の実現を。②より精度の高い地震の揺れやすさマップを作成し市民に周知を。③相鉄いずみ野線延伸、藤沢駅周辺地区再整備、社会インフラの長寿化等は、進捗管理を行い推進すること。④市民会館を中心とした文化ゾーンの再整備や空き家の活用は、公共施設の再整備の視点を加え、横断的に連携し取り組むこと。

不祥事に関する対応 徹底した説明を 市民派クラブ 1人

①発覚が相次いだ不祥事は犯人逮捕には至らず未解決のままである。記憶は薄れようとも、不信は残るため、徹底説明に取り組むこと。②組織の内

対象項目の拡大や前倒しの支給を。⑤中学校給食のデリバリー方式はやめ、自校方式で実施を。⑥マノモス校に対し、学区の見直しや学校の新設などの早急な対策を。⑦国民健康保険料を少なくとも1人1万円は引き下げるべき。⑧介護保険料は基金を活用して引き下げ、市民の負担軽減を。⑨特別養護老人ホームの入所待機者の解消に向けた施設整備を。⑩ごみ袋の値段を当面半額にすること。

既存のサロンや居場所を示した市民の憩いの居場所マップを作成し、利用拡大を図ること。⑩困難を抱える子ども若者の支援としてバックアップふじさわ、ユースサポート、ユースワークふじさわの事業を一体的に示し、周知啓発に取り組むこと。⑪観光シティブロモーションのイベントやボランティアの機会を活用し、若者の出会いの場の創出

時の非常用電源の発電に大変有効なプロパンガスやガスボンベは市や民間事業者の施設等での活用を検討を。⑤緊急時に要介護者の短期入所施設が利用できる状況があるため、地域生活支援拠点等の整備を進めること。⑥幼児二人同乗用自転車購入費助成は、基準適合車の普及促進という当初の役割は十分に果たされたことから、事業廃止を含めた見直しを。⑦湘南

高年齢者の移動支援の観点から非常に有効であるので、地域の実情に合った施策の実施を。⑧放課後児童クラブについて処遇や募集方法の改善等のさまざまな手法を検討し、指導員の確保を。⑨医師会立看護専門学校は、湘南東部医療圏の人材確保に大きな役割を果たしているため、今後も継続的な支援を。⑩農業に対する意識が高い市民農園利用者や援農ボランティア等との今後の連携の検討を。⑪債務負担行為の効

本条例を制定し、市内小規模事業者への支援を抜本的に強めること。⑭神奈川県新たな津波浸水想定に基づき津波ハザードマップを改訂し、配布を。⑮大型開発や不要不急の道路建設は中止も含めた抜本的な見直しを。活用を検討すること。④健康寿命日本一のため、職員が率先して受動喫煙防止を推進すること。⑤地域内外を問わず消費促進と販路拡大を目指す地産多消の取り組みを進めること。⑥将来的な課題を解消する政策実現への投資として、交通不便地域の解消に公的資金の投入を。⑦小学校教員の業務用コンピュータの整備に早期に取り組み、教育行政の充実を図ること。